

## 施策評価調書(元年度実績)

政策体系	施策名	構造改革の更なる加速	所管部局名	農林水産部	施策コード	Ⅱ-1-(1)
	政策名	挑戦と努力が報われる農林水産業の実現	関係部局名	農林水産部	長期総合計画頁	77

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	水田の畑地化による 高収益な園芸品目等への生産転換	全国トップレベルの肉用牛産地づくり (おおいた和牛日本一プロジェクト)	循環型林業の確立による 林業・木材産業の成長産業化	水産業の資源管理の強化と成長産業化
取組No.	⑤			
取組項目	スマート農林水産業の実現			

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		元年度			6年度	目標達成度(%)												
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125								
i	農林水産業による創出額(億円)	①②③ ④⑤	H25	2,134	2,311 (H30)	2,216 (H30)	95.9%	2,650 (R5)												
	農業産出額	①②⑤	H25	1,276	1,363 (H30)	1,259 (H30)	92.4%	1,534 (R5)												
	うち園芸	①⑤	H25	574	637 (H30)	536 (H30)	84.1%	744 (R5)												
	うち畜産	②⑤	H25	414	460 (H30)	454 (H30)	98.7%	550 (R5)												
	林業産出額	③⑤	H25	181	197 (H30)	211 (H30)	107.1%	240 (R5)												
	水産業産出額	④⑤	H25	386	391 (H30)	386 (H30)	98.7%	462 (R5)												
	付加価値額、交付金等	①②③ ④⑤	H25	291	360 (H30)	360 (H30)	100%	414 (R5)												

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	<p>概ね達成</p> <p>H30年の創出額は2,216億円(前年比+0.1%)で、概ね目標値を達成した。            農業は1,259億円(△1.1%)。このうち園芸は、水田畑地化や新規就農によりねぎ類等で生産が拡大したものの、暖冬による生産量の増加で価格が低下したことなどから2.2%減少した。林業は211億円(+1.4%)。このうち木材は、堅調な国産材需要を背景に素材生産量が増加したこと等により、6.6%増加した。きのこ類は、乾しいたけの単価低下等により9.9%減少した。水産業は386億円(+4.0%)。このうち海面養殖業はブリ類やヒラメの生産増により4.6%増加した。海面漁業はイワシ類などの漁獲量増加や単価上昇により3.3%増加した。付加価値額は229億円(△2.6%)。このうち食品加工は、大麦若葉の加工取扱量の増加等により、3.6%増加した。木材加工は、製材所の設備投資が進んだことに伴う減価償却費の増加等により、14.3%減少した。交付金等は直接支払交付金(多面的・中山間)の交付面積拡大により110億円(+0.9%)となった。            (農林水産業産出額の国の公表が約1年後となることから、R1年度の目標値・実績値にはH30年度の数値を記載している。)</p>	概ね 達成

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・米偏重の農業から高収益な園芸品目等への転換に向けて、畑地化の際に必要な排水対策などを支援した結果、目標を超える107haの転換を行うことができた。
②	・肉用牛の高付加価値化に向けて、ラグビーワールドカップの開催を通じたPRや大消費地圏での販促等を行った結果、県内外での「おおいた和牛」取扱店が151店舗(対前年77店舗増)に拡大した。
③	・木材の素材生産量の増加に向けて事業体に対し高性能林業機械の導入等を支援するとともに、路網整備や施業地集約化に取り組んだ結果、認定林業事業体の主伐生産性が10.0m <sup>3</sup> /人・日に向上した。
④	・マグロの安定供給に向けて開発した深層型生け簀において、マグロの遊泳状況を観測し、赤潮発生水域よりも深層での遊泳を確認できた。また課題等も把握でき、今後の飼育技術の進展につながった。
⑤	・「大分県スマート農林水産業推進方針」を策定し、各部門毎にICT等の先端技術を活用した生産性向上・省力化技術を推進した結果、スマート農業技術の導入経営体数が477経営体(+69%)となった。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	農地中間管理推進事業	140.7	142
	水田畑地化露地野菜産地形成促進事業	107.0	143
②	おおいた和牛流通促進対策事業	112.3	143
	繁殖雌牛生産能力向上対策事業	64.8	144
③	主伐・再造林システム構築事業	192.5	145
	林業事業体強化推進事業	120.0	163
④	養殖マグロ成長産業化推進事業	200.0	146
	ヒラメ陸上養殖生産振興事業	93.0	146
⑤	スマート農業普及拡大事業	176.7	147
	園芸産地スマート化推進事業	100.0	147

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第1回活力部会(R1.5) ・農林水産業も非常にすばらしいものができるのが販売力やPRが他県に比べて非常に消極的。	○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第3回総合部会(R1.8) ・農林水産業の現場では、生産性向上や人手不足対策のために先端技術の活用が不可欠。
---	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田の畑地化等による高収益な園芸品目への転換を加速するため、優良農地の集積・集約化や園芸品目の導入リスク等の軽減を図るほか、園芸品目の産地拡大に対応した出口対策を強化する。</li> <li>・畜産では、繁殖牛の導入支援や枝肉重量・肉質の向上、分娩間隔の短縮に向けた技術指導体制の強化に取り組む。また、サポーターショップの活動やSNS等を活用したPRを強化し全国トップレベルの肉用牛産地づくりを進める。</li> <li>・林業では、高性能林業機械の導入支援に加え、林業用ドローンなどの造林機械の導入支援や新規就業者を雇用する事業体に対する集中支援により中核林業経営体の育成を図る。</li> <li>・水産業では、資源管理の徹底や、養殖マグロにおける深層型生け簀を活用した養殖手法の確立、養殖ヒラメの成長促進効果が認められた緑色LED灯具の整備支援など、生産・流通体制の強化に取り組む。</li> </ul>